

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミツ星

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部担当兼総務部担当 (氏名) 坂野 正芳

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,410	2.3	30	△67.2	76	△30.1	74	22.4
25年3月期第2四半期	4,309	△9.3	94	73.2	109	174.5	61	△40.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 80百万円 (62.3%) 25年3月期第2四半期 49百万円 (△45.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	13.07	—
25年3月期第2四半期	10.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	8,577	3,836	44.7	670.94
25年3月期	8,460	3,801	44.9	664.76

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,836百万円 25年3月期 3,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,053	4.3	90	△52.9	121	△55.1	105	△53.3	18.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関しては、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,333,276 株	25年3月期	6,333,276 株
26年3月期2Q	615,250 株	25年3月期	614,850 株
26年3月期2Q	5,718,259 株	25年3月期2Q	5,719,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や個人消費に持ち直しの動きがみられ、緩やかではあります。全体としては回復基調で推移しました。ただし、個別企業の景況感にはバラツキがみられ、輸出の増加等により大企業の景況感が好転する一方、円安による原材料価格の上昇を製品価格に転嫁しきれない中小企業の中には、回復感がみられない先もあります。海外経済は、米欧の経済指標が改善傾向を示す一方、新興国の景気が減速するなどバラツキがみられ、引き続き予断を許さない状況が続いています。

こうした中、当社グループは今年度より中期経営計画をスタートさせ、経営体制の効率化を一層推進するとともに、事業拡大に向け新規ビジネスの企画・開発にも注力しております。具体的には海外子会社で事業拡大の動きが前進するなど、一部に良い兆候もみられていますが、当社の主力事業である電線事業のキャブタイヤケーブル市場が縮小するなかで価格競争が激化し、当社にとって厳しい収益環境となりました。

この結果、売上高は4,410百万円（前年同期比2.3%増）となりましたが、主力事業の利益率の低下により営業利益は30百万円（前年同期比67.2%減）、経常利益は76百万円（前年同期比30.1%減）となりました。四半期純利益は前年計上した有価証券評価損が無くなったことにより74百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

[電線]

当事業の対象とするキャブタイヤケーブル市場の需要は、景気全体が回復基調を辿るなかでも縮小傾向に歯止めがかからず、引き続き低調に推移しました。こうした中、当社としては顧客対応を充実させつつ個別案件の獲得に努めた結果、売上高は2,741百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

一方、利益面では、需要が低価格品にシフトしたことや円安により仕入価格が上昇したことなどから、セグメント利益は26百万円（前年同期比70.1%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業の国内販売は減少したものの、洪水被害により休業状態であったタイ生産子会社が復旧したことにより、事業全体の売上高は1,266百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

一方、利益面については、材料価格の上昇を販売価格に転嫁しきれず、セグメント損失は3百万円（前年同期セグメント損失4百万円）となりました。

[電熱線]

当事業の売上は、一部新興国向け大口輸出案件の発生など海外需要の回復を背景に、徐々に持ち直しつつあり、361百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

しかし、利益面では、新規事業にかかわる経費の先行発生などの経費増により、セグメント利益は2百万円（前年同期比73.2%減）となりました。

[その他]

当事業の主要製品は産業車両用LED照明灯や高機能チューブ等ですが、当事業区分の売上高はチューブ関連の増加により41百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

セグメント利益は、増収効果により4百万円（前年同期セグメント損失1百万円）と黒字転換しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が125百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が96百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,206百万円となり前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が37百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,577百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少しました。これは主に、当連結会計年度からの使用となる電子記録債務を165百万円計上したことに対して、支払手形及び買掛金が223百万円、短期借入金が180百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しました。これは主に長期借入金が252百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,741百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加しました。これは主に利益剰余金が28百万円、その他有価証券評価差額金が23百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.7%（前連結会計年度末は44.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より125百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には985百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、42百万円の獲得（前年同期は261百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益82百万円（前年同期は四半期純利益65百万円）や売上債権の減少50百万円（前年同期は247百万円の減少）に対し、仕入債務の減少70百万円（前年同期は77百万円の減少）によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は41百万円の使用（前年同期は31百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出46百万円（前年同期は28百万円の支出）によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は110百万円の獲得（前年同期は25百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入600百万円（前年同期は251百万円の収入）に対し、長期借入金の返済による支出259百万円（前年同期は394百万円の支出）や短期借入金の純減額180百万円（前年同期は純増額150百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日（平成25年10月31日）公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算基準の変更）

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用について、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更いたしました。この変更は在外子会社における前第4四半期連結会計期間において急激な為替相場変動があったため、収益及び費用についての原則的な換算基準である期中平均の直物為替相場を用いることにより、一時的な為替相場の変動による影響を排除し、在外子会社の期間損益計算をより適正に行うために実施したものであります。

この結果、遡及適用を行う前と比べ、前第2四半期連結累計期間の売上高が0百万円、営業利益が1百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ0百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,489	985,447
受取手形及び売掛金	2,844,787	2,748,018
電子記録債権	—	53,247
商品及び製品	974,300	934,832
仕掛品	195,188	186,183
原材料及び貯蔵品	293,775	323,377
その他	130,585	140,650
貸倒引当金	△552	△520
流動資産合計	5,297,574	5,371,238
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,946,818	1,950,383
その他（純額）	805,745	803,558
有形固定資産合計	2,752,564	2,753,941
無形固定資産		
投資その他の資産	5,503	12,520
投資有価証券	362,606	399,639
その他	46,689	44,598
貸倒引当金	△4,482	△4,482
投資その他の資産合計	404,813	439,754
固定資産合計	3,162,881	3,206,216
資産合計	8,460,456	8,577,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,609	993,921
電子記録債務	—	165,823
短期借入金	980,000	799,917
未払費用	38,408	29,999
未払法人税等	29,770	12,368
賞与引当金	71,369	86,422
その他	689,451	742,336
流動負債合計	3,026,610	2,830,789
固定負債		
長期借入金	1,024,128	1,276,677
退職給付引当金	292,227	301,212
役員退職慰労引当金	254,578	253,870
その他	61,509	78,460
固定負債合計	1,632,443	1,910,220
負債合計	4,659,053	4,741,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,581,176	1,610,165
自己株式	△148,258	△148,351
株主資本合計	3,703,033	3,731,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,380	104,395
為替換算調整勘定	16,988	120
その他の包括利益累計額合計	98,369	104,515
純資産合計	3,801,402	3,836,444
負債純資産合計	8,460,456	8,577,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,309,538	4,410,424
売上原価	3,479,547	3,652,911
売上総利益	829,991	757,512
販売費及び一般管理費	735,795	726,645
営業利益	94,195	30,867
営業外収益		
受取利息	141	130
受取配当金	5,450	5,655
受取家賃	1,374	4,640
仕入割引	4,003	3,800
為替差益	23,420	53,592
その他	6,958	4,677
営業外収益合計	41,348	72,496
営業外費用		
支払利息	18,946	16,346
売上割引	6,842	8,417
その他	472	2,180
営業外費用合計	26,261	26,945
経常利益	109,282	76,418
特別利益		
固定資産売却益	9	38
投資有価証券売却益	—	6,111
特別利益合計	9	6,149
特別損失		
固定資産除却損	832	257
投資有価証券評価損	42,488	—
特別損失合計	43,321	257
税金等調整前四半期純利益	65,971	82,310
法人税、住民税及び事業税	15,868	10,015
法人税等調整額	△10,962	△2,440
法人税等合計	4,906	7,574
少数株主損益調整前四半期純利益	61,064	74,736
四半期純利益	61,064	74,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	61,064	74,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,543	23,014
為替換算調整勘定	△6,684	△16,867
その他の包括利益合計	△11,228	6,146
四半期包括利益	49,836	80,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,836	80,883

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	65,971	82,310
減価償却費	76,537	76,754
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△74	△32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,949	15,062
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,740	8,769
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,052	△708
受取利息及び受取配当金	△5,591	△5,785
支払利息	18,946	16,346
固定資産売却損益 (△は益)	△9	△38
固定資産除却損	832	257
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,111
投資有価証券評価損益 (△は益)	42,488	—
売上債権の増減額 (△は増加)	247,307	50,637
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,478	21,834
仕入債務の増減額 (△は減少)	△77,054	△70,609
未払費用の増減額 (△は減少)	1,867	△8,340
その他	△128,905	△98,909
小計	293,430	81,439
利息及び配当金の受取額	5,596	5,785
利息の支払額	△18,935	△16,398
法人税等の支払額	△18,486	△28,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,605	42,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,638	△46,383
有形固定資産の売却による収入	335	38
投資有価証券の取得による支出	△3,285	△3,052
投資有価証券の売却による収入	—	7,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,589	△41,529
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	△180,082
長期借入れによる収入	251,847	600,000
長期借入金の返済による支出	△394,987	△259,834
配当金の支払額	△27,991	△44,944
その他	△3,927	△4,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,058	110,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,957	13,879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	211,915	125,958
現金及び現金同等物の期首残高	592,228	859,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	804,144	985,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電線	ポリマテック	電熱線	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,730,228	1,205,352	338,755	4,274,336	35,202	4,309,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,000	293	3,060	6,353	—	6,353
計	2,733,228	1,205,646	341,815	4,280,690	35,202	4,315,892
セグメント利益又は損失(△)	89,662	△4,168	10,824	96,319	△1,171	95,147

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、高機能チューブ関連商品、LED関連商品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	96,319
「その他」の区分の利益	△1,171
全社費用(注)	△951
四半期連結損益計算書の営業利益	94,195

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電線	ポリマテック	電熱線	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,741,953	1,266,099	361,259	4,369,312	41,112	4,410,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	386	—	267	653	—	653
計	2,742,340	1,266,099	361,526	4,369,966	41,112	4,411,078
セグメント利益又は損失（△）	26,798	△3,657	2,897	26,037	4,829	30,867

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、高機能チューブ関連商品、LED関連商品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	26,037
「その他」の区分の利益	4,829
四半期連結損益計算書の営業利益	30,867

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算基準の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用について、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べ、前第2四半期連結累計期間の「電線セグメント」の売上高は8千円減少し、セグメント利益は2,268千円増加しております。また、「ポリマテックセグメント」の売上高は91千円増加し、セグメント利益は327千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。